

アジア・アフリカ支援米

4地区で田植えを実施!

諫早地協も今回から参加



諫早(諫早市)



島原(雲仙市)



壱岐(壱岐市)



連合長崎では、アジア・アフリカで飢餓に苦しむ人々を少しでも救済するため、アジア・アフリカ支援米運動を取り組み、「一人一握りの米のカンパ活動」から「支援田での米収穫運動」へと発展してきている。12年目を迎える今年は「壱岐(5月31日)、諫早(6月22日)、佐世保・北松ブロック(6月28日)、島原(6月29日)」の各地協で田植えを行ない、150名を超える組合員・家族が参加した。なお、五島地協は予定した6月15日が荒天のため中止となった。

非正規雇用労働者・未組織労働者に向け 「なんでも労働相談ダイヤル」を実施

全国一斉「なんでも労働相談ダイヤル」が2008年6月6日(金)～7日(土)の2日間行われ、久保田、津志田の両労働相談アドバイザーと連合長崎事務局で対応した。事前に、民放ラジオスポットコマーシャル、新聞広告、各地協における街頭宣伝行動を行い、賃金未払い問題1件、組織問題1件、有給休暇問題1件の3件についての相談があった。



労働者保護の視点で派遣法見直しを！



2008年5月26日(土)、長崎市大丸前で「格差是正キャンペーン第2弾」として、連合長崎・長崎地協・青年・女性委員会はチラシ・ティッシュ配りを行った。

国会会期末を控え、「労働者保護の視点で派遣法を見直そう！」「すべての労働者に社会保険の適用を！」「最低賃金の引き上げを！」「割り増し賃金の引き上げを！」求めて24人の役員が参加した。

市民参加で核兵器廃絶を実現しよう！ 長崎の声を世界にひろげよう！

第20回記念ながさき平和大集会

2008年6月15日(日)、原爆資料館ホールで第20回記念ながさき平和大集会が開催され、連合長崎構成組織からの133人をはじめ多くの市民が参加した。

集会では、田上長崎市長が「長崎平和のまちづくり」と題して講演、また第20回を記念して創設された「秋月平和賞」が、故秋月辰一郎医師らと共に同集会の創始者の一人である小池スイ・元県地婦連会長に授与された。

川副忠子・長崎県被爆教職員の会会長が、この10年の高校生平和大使の活動を紹介した後、2007年高校生平和大使がこの1年間の活動を報告、続い

て2008年高校生平和大使に選ばれた6人の紹介と決意表明が行われた。平和大使は8月にジュネーブで開催される国連軍縮会議に参加する。



2008連合長崎平和行動 に積極的に参加しよう!

◆平和公園「平和の泉」清掃

日 時 2008年7月26日(土)
9:00~11:30
場 所 長崎市平和公園「平和の泉」
参 加 青年委員会・女性委員会に要請



◆「構成詩」練習

「ナガサキ大会」で発表します。
日 時 2008年8月2日(土)
14:00~
場 所 NTT万才町ビル
参 加 構成組織に要請



◆平和キャラバン隊出発式

日 時 2008年8月3日(日)
12:00~
場 所 鉄橋(長崎市浜の町)
参 加 各構成組織役員、長崎地協役員、
青年・女性役員、各級議員に要請



◆平和行動in広島

日 時 2008年8月4日(月)~6日(水)
場 所 広島市
行 動 4日 核兵器廃絶平和ヒロシマ集会
5日 ピースウォーク
シンポジウム
6日 「平和の鐘」打鐘式



◆「核兵器廃絶2008平和ナガサキ大会」

日時 2008年8月7日(木)
15:30~18:00

会場 長崎県立総合体育館 メインアリーナ

規模 3,500名(構成組織に要請)

次第

- オープニング、黙祷
- 実行委員会代表あいさつ・来賓あいさつ
- 被爆者の訴え
- ピースメッセージ
- 高校生平和大使報告、決意表明
- 構成詩「親子で綴る平和の願いVII」
- 平和アピール
- 合唱「原爆許すまじ」



◆ピースウォーク

時間 2008年8月8日(金)
9:30~11:30

会場 原爆落下中心地公園、平和公園

要領 公園内モニュメントを連合長崎が案内

要請 青年・女性委員会、O.B.に要請



◆「平和シンポジウムin長崎」

会場 長崎原爆資料館 大ホール

時間 2008年8月8日(金)
14:00~16:00

規模 400名(構成組織に要請)

テーマ 「原爆症認定訴訟の現状と
今後の取り組み」



◆「万灯流し」

時間 2008年8月9日(土)
19:00~20:00

会場 浦上川(長崎市松山町 陸上競技場内)

内容 原爆殉難者慰霊奉賛会、城山連合自治会、市民団体と一緒に、平和の願いを込めて万灯を浦上川に流す。

参加 構成組織に要請



連合＝「信頼される労働運動、頼りがいのある組織」 を目指し組織拡大について議論

2008年7月11日、長崎市勤労福祉会館で「連合長崎組織拡大学習会」を開催し、構成組織から40人の役員が結集した。

ワーキングプアの温床となっている非正規労働者の組織化等、組織拡大に向けて開催されたもので、主催者（原田敏春副会長）、連合長崎（高石哲夫会長）あいさつの後、連合本部・寺田弘組織対策局長から「連合の組織拡大方針と課題」、久保田達郎地方アドバイザーから「労働相談は社会の縮図・組織拡大の窓口」と題して基調講演を受けた。



寺田弘組織対策局長

男女平等参画で組合を変えよう！

連合長崎女性委員会は、男女平等月間である6月22日(日)、今年4月開所したばかりの長崎県立図書館多目的ホールで学習会を開催し、93人が参加した。

主催者（森優子委員長）、連合長崎（本多毅副事務局長）あいさつの後、長崎で働く女性リーダーによる話を聞きたいとの要望を踏まえ、十八銀行佐世保俵町支店・佐藤明美支店長を講師に「いま働く女性に伝えたいこと」と題して、入行してから「職場での女性としての苦労をどう克服してきたか。キャリアアップの作り方」などについて講演を受けた。十八銀行が取り入れた「中途退職後の正規職員としての再採用制度」などについて2名の質問があり、同行していた人事部職員からの説明もあった。



森優子委員長

就職差別撤廃に向け、国、県に要請行動

2008年6月25日、部落解放共闘長崎県民会議（小島事務局長、宮崎・岩川事務局次長）は、長崎県労働局（職業安定課）、長崎県（人権・同和对策課長、市町振興課、人事委員会、雇用労政課、高校教育課）に対し、「就職差別撤廃に向けた要請書」を提出し、公正採用選考の徹底などを申し入れた。

平成19年度も家族の構成（母子家庭）や職業などを訊ねる違反事象として11件（21人）が報告されている。



松尾職業安定課長に要請

● 被災者救援で街頭カンパを呼びかけ ●



2008年5月2日にビルマ中・南部を直撃したサイクロン災害、および12日に発生した中国四川省大地震災害については、合わせて15万人を超える死者・行方不明者を出すと共に現在でも多くの被災者が仮設テント等で暮らし、災害復興も長期化が予想されている。

連合長崎は、7月12日、長崎市大丸前で街頭カンパを呼びかけ、23,045円の浄財を集めた。構成組織のカンパ金と合わせ、四川大地震は福建省总工会及び長崎総領事を通じ、ビルマは連合本部を通じ被災地に送られる。

「労働・暮らしの相談」始めます



「ライフサポートセンター佐世保」を開設

連合長崎、労金、全労済、労福協は、勤労者が働いている間も、退職したあとも、生涯にわたって充実した生活をおくれるよう「ライフサポートセンター佐世保」を佐世保地協内に開設し、2008年7月1日に佐世保市労働福祉センターで関係者・来賓等44名が出席して開所式が行われた。

センター長となる菊永昌和・佐世保地協議長、設立委員長の高石哲夫連合長崎会長のあいさつの後、長崎県雇用労政課・笹原哲夫課長、佐世保市長・朝長則男、長崎労働局・内田昭宏局長の来賓祝辞があり、センターの概要を連合長崎・小石隆事務局長が報告して開設を祝った。

平和の声 力あわせて高々と

2008年6月23～24日の「平和行動in沖縄」で今年の平和運動強化期間がスタートし、全国から約1600人、連合長崎から22名が参加した。

23日の「平和オキナワ集会」では、連合沖縄・仲村信正会長が緊急署名48万筆を6月20日外務省に提出したことを報告、終了後の「平和交流集会」では琉球舞踊や演舞などの琉球文化を堪能した。24日は連合長崎参加者で「ピースフィールドワーク」を行い南部戦跡と米軍基地の実相に触れた。夕方6時から米軍基地の整理・縮小を求める集会があり、終了後県庁前広場から牧志公園までデモ行進を行った。

